

第 2 豊かな教養と専門性を備えた実践力のある看護人材の育成と地域への着実な供給	
中期計画	実績報告
1 入学者選抜及び学部教育 (1) 優秀な学生の確保 【評価指標】 ・学部の入学定員充足率：100% ・入試制度の見直し：1 回/年 ・現行の社会人特別入試制度における出願数：1 名以上/年 ・新たな社会人や留学生等を受け入れる入試制度の創設 ・高校訪問 30 校以上/年 (2) 教育方法・内容 【評価指標】 ・卒業時の学生評価でディプロマポリシーを達成できた割合：95%以上 ・看護師・保健師・助産師国家試験合格率：100% 2 大学院教育の充実 (1) 優秀な学生の確保 【評価指標】 ・大学院の入学定員充足率：前期 66%以上、後期 83%以上（6 年間平均）	・100% ・1 回 ・1 名 ・継続検討 本学の私費外国人留学生特別選抜は志願者 1 名で合格者 1 名、社会人特別選抜は志願者 1 名で合格者 0 名。社会人・留学生特別選抜がある他の公立大学での志願者・合格者数は 0～1 名。2026 年度も同様の傾向であり、制度創設は見送り、今後のデータ蓄積を踏まえ継続検討とした。 ・30 校 ・98.4% ・看護師・保健師・助産師すべて 100% ・前期 67.9%（入学 19 名/定員 28 名）、後期 100%（入学 3 名/定員 3 名）

(2) 教育方法・内容 【評価指標】 (博士前期・後期課程) ・修了時の学生評価でディプロマポリシーを達成できた割合：90%以上 (博士前期・後期課程) ・学会参加した院生の割合：25%以上/年、発表した院生の割合：10%以上/年（共同演者含む）	・ 100% ・ 学会参加 51.9%/年、学会発表 25.0%/年（共同演者含む）（5/1 時点、在学人数 52 名。参加 27 件、発表 13 件。）
3 学生への支援 (1) 全学的な学修支援体制の整備 【評価指標】 ・学部生の大学生活全般の学生アンケートの満足度：90%以上 ・(博士前期・後期課程) 大学院生活全般の学生アンケートの満足度：80%以上 (2) 特別な配慮を要する学生への学修支援の強化 【評価指標】 ・合理的配慮を必要とする学生の修学支援制度についての学部生・院生における認知度：80%以上 ・配慮を要する学部生、院生の学修支援に対する満足度：80%以上 (3) 生活面、健康面及び経済面の支援 【評価指標】 ・学部生の大学生活全般の学生アンケートの満足度：90%以上 ・(博士前期・後期課程) 大学院生活全般の学生アンケートの満足度：80%以上	・ 89.4% ・ 73.9% 学生が様々な相談をしやすいう、既存の各相談先を集約したワンストップ窓口の新設について検討する。 学生生活調査の項目の検討と調査を実施予定（2027 年、2029 年） ・ 45.7% ・ 100% 新学期オリエンテーションや主指導教員の授業を通して合理的配慮に関する制度の周知を図ることを継続する。 ・ 89.4% ・ 73.9% 学生が様々な相談をしやすいう、既存の各相談先を集約したワンストップ窓口の新設につ

(4) 就職・キャリア支援 【評価指標】 ・卒業・修了予定者の就職・進学希望者の進路決定率：100% 4 優秀な学生の確保と市内への看護人材の供給 【評価指標】 ・市内就職率：65%以上 ・進路ガイダンスや合同就職説明会の学生アンケートの満足度：95%以上	いて検討する。 学生生活調査の項目の検討と調査を実施予定（2027 年、2029 年） ・100% ・58.4%（2020 年度 46%、2021 年度 65%、2022 年度 52%、2023 年度 65%、2024 年度 53%） ・100%
---	---

第3 大学ブランドの強化・向上	
中期計画	実績報告
1 地域課題の解決や市の政策課題への貢献を担う、学術研究の推進 (1) 地元に貢献する研究の推進 【評価指標】 ・臨床共同研究実施数：3 件以上/年 (2) 研究活動推進のための支援 【評価指標】 ・科学研究費新規申請者の採択率：全国平均値以上 ・科学研究費新規申請率：毎年 45%以上 ・研究支援（研修等）の実施回数：3 回以上/年、参加者の満足度：年平均 95%以上 (3) 研究倫理の確保	・5 件 臨床共同研究促進のため、ワーキンググループを発足し、新規の臨床共同研究先の候補となる実習施設への働きかけを全学的に行った。 ・34.4%（全国平均 27.2%） ・65.2% 研究助成金申請書の作成に係る研修会を 4 回（科研費獲得プロジェクト 2 回、申請書作成の支援ツールとしての AI の使用法に関するランチョンセミナー2 回）開催した。 ・4 回/年、97.6%（2025 年度）

【評価指標】 ・ eAPRIN（研究倫理教育 e ラーニングプログラム）の修了率：100% ・ 学内倫理講習会の参加率：100% （４）研究成果の発信 【評価指標】 ・ 全教員の平均が、著書又は論文掲載（査読付き） 7 件以上かつ学会発表 14 回以上/ 6 年 ・ 全教員のリサーチマップの毎年更新	・ 95.1% 院生に未受講者がおり、また当該年度着任・退職した教員 1 名も未受講。 ・ 100%
2 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進 （１）地域と連携した教育研究活動 【評価指標】 ・ 地域住民への防災減災支援活動：1 回以上/年 ・ 2026 年度より生涯教育講座を開設し、地域貢献として多様な学修機会を提供する。 （２）地元住民への地域貢献活動の推進 【評価指標】 ・ まちの保健室活動後のアンケートの満足度：毎年 85%以上 ・ コラボカフェのアンケートの満足度：毎年 95%以上	・ 著書又は論文 1.9 件/ 1 年、学会発表 2.2 回/ 1 年 ・ 100% ・ 5 回/年 大学都市神戸産官学プラットフォームの「企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災」プロジェクトにおける地域の多機関と協働した地域防災活動を 2 回実施。その他に防災士や地域防災リーダーを対象とした専門的な講座に加え、日常的な備えの重要性を伝える一般向け講座、さらに障害のある方など要配慮者を含めた多様な視点での防災・減災講座を実施した。 ・ 0 回 2025 年度は他大学の実施状況を調査し、2026 年度に 4 回実施する企画を計画した。 ・ 95.2% 予定通り年間 28 回開催した。 ・ 100%

(3) 地元の看護人材の供給 【評価指標】 ・リカレント教育への参加者の就職決定：12名以上/6年 (4) 地元の看護人材の支援 【評価指標】 ・リカレント教育への参加者の研修後アンケートの満足度：80%以上 3 グローバルな視点を培う、国際交流の推進 (1) 多文化理解の推進 【評価指標】 ・海外研修：1回以上/年 (2) 海外の大学との交流の推進 【評価指標】 ・海外大学との交流（オンラインミーティングを含む） 実施回数：2回以上/年 ・新規大学間協定：1件以上 (3) 地元における保健・医療分野で働く外国人のキャリア開発 【評価指標】 ・ニーズ調査に基づく支援内容の実施	・参加者 32 名中未就業者 2 名、うち就職 1 名 ・「大変満足」「満足」の合計 96.5% ・ 1 回 ・ 4 回 ・ 1 件 英国ダービー大学と MOU を締結。 ・ ニーズ整理とヒアリング 3 件
--	--

第4 業務運営及び財務内容の改善	
中期計画	実績報告
1 効率的で機動的な組織運営体制の構築による地域の発展への貢献	

(1) 効率的で機動的な組織運営体制の構築 【評価指標】 ・係長級以上の職への固有職員の配置：1名以上 ・給与事務のシステム化の実現 ・業務監査、会計監査、公的研究費監査：1回以上/年 ・教員の教育能力向上のFD研修：2回以上/年 (2) 開かれた大学運営の推進 【評価指標】 ・大学運営における学生の意見聴取の機会の創出 (3) 教育研究組織の見直し 【評価指標】 ・教育研究組織の検証、見直し：1回以上/年 2 自立した看護職者の育成に必要な基礎教育の教育環境の整備・充実 【評価指標】 ・長期保全計画の点検・見直しの実施 3 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保 (1) 自己点検・評価及び外部評価 【評価指標】 ・独立的モニタリングの実施：1回以上/年 ・自己点検評価および外部評価の結果のホームページでの公開：評価実施時 (2) 情報公開及び情報管理	・0名。係長級以上の職への固有職員の配置は業務内容を踏まえつつ実現に向けて検討中。 ・給与事務のシステム化対象・費用対効果の検証中 ・各監査1回 ・教育FD2回・実習FD1回 ・記念事業へ学生が委員として参画、学生生活調査の実施（全学部生・院生を対象に個別アンケート） ・内部質保証推進会議を設置し、内部質保証の体制図、点検・評価のガイドライン、内部質保証チェックシート等を作成し、次年度以降の検証の基盤整備を実施。 ・年に1度、点検・見直しを実施した上で、優先順位の高いものから改修。 ・1回 ・2024年度計画及び第1期中期計画の評価を掲載
--	--

【評価指標】 ・大学運営においてデータ分析・活用による課題解決を図る。	・入試区分および新カリキュラムの検討における IR 分析実施
4 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止 (1) 健康管理と安全対策 【評価指標】 ・危機管理マニュアルを踏まえた災害時を想定した訓練：1 回以上/年 ・安否確認訓練：2 回以上/年 ・情報セキュリティ研修：1 回以上/年 ・情報漏洩（重大事象）の発生回数：0 件/年 (2) 人権尊重 【評価指標】 ・性的マイノリティを含むハラスメント防止の教職員研修会：1 回以上/年	・ 1 回 ・ 2 回 ・ 2 回 ・ 0 件 ・ 2 回
5 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化 (1) 外部資金の獲得 【評価指標】 ・科学研究費新規申請者の採択率：全国平均値以上 ・科学研究費新規申請率：毎年 45%以上 ・臨床共同研究：3 件以上/年 ・大型研究資金の獲得：1 件以上 (2) 学生納付金等 【評価指標】 ・学生納付金の納付率：100%	・ 34.4%（全国平均 27.2%） ・ 65.2% ・ 5 件 ・ 0 件 ・ 100%

(3) 多様な収入の確保 【評価指標】 ・学内施設利用料収入：3,000,000 円以上/年	・ 3,208,800 円
(4) 業務の改善と経費の適正化 【評価指標】 ・ 事務局における時間外勤務時間数の縮減：20%減 (2021～2023 年度の平均との比較)	・ △1.9% ※ 1 か月間の 1 人あたりの時間外勤務時間数 (2025 年度：24 時間 50 分、2021～2023 年度の平均：25 時間 19 分)